

東アジアの人口少子高齢化(エイジング) に向けての 政策提言

小川, 全夫
九州大学人間環境学研究院教授 | 九州大学アジア総合政策センター複担教授

<https://doi.org/10.15017/13309>

出版情報 : 九州大学アジア総合政策センター紀要. 1, pp.1-2, 2006-06-30. Kyushu University Asia Center
バージョン :
権利関係 :



東アジアの人口少子高齢化 (エイジング) に向けての政策提言

小川 全夫

(九州大学人間環境学研究院教授・アジア総合政策センター複担教授)

福岡市全体を、少子高齢化への取り組みの展示会場としてアジア全体に提示する。(福岡エイジング・オープン・ミュージアム構想)

現状分析

日本是世界一人口高齢化が進んだ社会になっている。また人口高齢化の速度は欧米諸国には比較にならない速さで進んでいる。東アジアの諸地域もまた日本より早い速度で人口少子高齢化の道を進んでいる。こうして急速に高まる人口少子高齢化に対する公共政策および市場開発への関心は、先進地域日本への盛んな視察、研修、教育、研究需要を生み出している。

福岡市では、アジアに開かれた都市を目標にしているが、「まちづくり型少子高齢化対策」を推進しようとしており、アイランドシティを「健康未来都市」として整備する構想を持っている。

政策提言

福岡市を「エイジレス・エイジング都市」のモデルとし、市民に対する新しい生活提案を行うとともに、人口少子高齢化に対する公共政策や市場開発に関するアジアとの人的交流拠点をアイランドシティに設置しよう。

- 1 アジアン・ツーリストビューロー・フォー・エイジング
高齢者福祉ツーリズム事業の振興拠点、介護研修事業の誘致
例：韓国からの高齢者介護視察・実習・研修団のコーディネート
- 2 アジアン・スクール・オブ・エイジング・ポリシー

アジア向けエイジング政策学およびエイジング技術開発

例：近辺の大学と連合してエイジング政策立案者養成大学院設置、東アジアの大学の日本サテライトキャンパス誘致・共同設置、福岡アジア都市研究所との連携強化

- 3 アジアン・ビジネススクール・フォー・エイジング
エイジング・ビジネスのR & Dとインキュベート
例：大学と連携した有料老人ホーム
高齢者によるビジネスモデル開発
- 4 アジアン・スクール・オブ・ケアワーク
アジア等の介護専門職養成
例：ケアワーカー交流自由化に対応した教育訓練カリキュラム開発

政策提言の成果

- 1 平成18年度福岡市港湾局予算で「アジア高齢社会研究センター」設立準備組織の構築支援及びその基礎調査を福岡アジア都市研究所に委託。
- 2 福岡エイジング・オープン・ミュージアム構想における福祉観光事業の推進については、平成18年度全国都市再生モデル調査事業のひとつとして採択。

今後の課題

九州大学総合政策センターを拠点として、大学改革推進等やCOEなどに申請できるよう内外の研究者とポリシーメーカーのコンソーシアム・ネットワークを形成する。

高齢者関連プロジェクトのイメージ

福岡エイジング・オープン・ミュージアム構想

(福岡市全体を、少子高齢化への取り組みの展示会場としてアジア全体に提示)

- インフラ整備(バリアフリー・ユニバーサルデザイン)
- 多様な住環境整備
- 医療保健福祉サービス活動
- 高齢者就業・社会参加促進活動
- エイジングビジネスの振興

等の実証フィールド

九州大学東アジアセンター・オン・エイジング
代表 小川全夫教授

- 福岡エイジング・オープン・ミュージアム構想の推進
- オープン・ミュージアム構想の核施設アジア・エイジング・ビジネス・センター整備構想の推進
- 九州大学アジア総合政策センターの誘致
- 東アジア地域少子高齢化専門家会議(エイジング総合研究センター)の誘致
- 高齢者福祉ツーリズム事業(日本の福祉資源をアジア向け観光資源として活用する事業)の推進
- アジアの大学の日本におけるサテライト・キャンパスの誘致
- 大学等と連携した有料老人ホームの誘致

アジア・エイジング・ビジネス・センター(AABC)
国・民間の誘致による整備

